

令和元年度森林土木技術研修会を開催しました。

当協会は、令和2年1月27日（月）に福島県建設センター（福島市）において、（公社）福島県森林・林業・緑化協会と共催して森林土木技術研修会を開催しました。

当日は、協会会員ほか市町村の職員など約50名の方に参加していただきました。

昨年の台風19号等による暴風雨は、福島県においても森林・林業・木材産業に甚大な被害をもたらしました。

この研修会は、災害状況とその対応を正確に理解し、今後本格化する復旧工事における安全対策等について学ぶために開催しました。

当協会の菅家洋一会長が全国の台風被害と対応状況などを含めてあいさつを述べ、その後、講義に入りました。



初めに、福島県農林水産部森林整備課 鈴木千秋主幹から「台風19号林道施設災害」について、林道施設の被害額や災害査定申請額、復旧工事の方法などの講義を受けました。

また、今後の復旧対応への協力依頼のほか「山地災害防止等支援活動に関する協定」に基づく市町村林道被害調査への当協会会員の皆様の協力について御礼の言葉をいただきました。



次に、同森林保全課 宮田博文主幹兼副課長から「台風 19 号等による林地の被害と復旧方針」について、林地被害の概要や治山施設の災害復旧などの講義を受けました。



その後、休憩を挟んで、福島労働局労働基準部健康安全課 中神貴好労働基準監督官から「森林土木工事における労働災害の動向等」について、災害事例の発生状況や原因、安全対策の必要性などの講義を受けました。



災害の発生にあつては、被災した林道や治山施設の一刻も早い復旧が求められます。

会員の皆様には、地域の安全・安心を守るため、復旧復興に向けた一層のご協力をお願いいたします。